

日本原燃株式会社濃縮・埋設事業所  
事業変更許可申請書の概要について

平成 1 7 年 1 1 月  
経 済 産 業 省  
原子力安全・保安院

## 目 次

### 1. 申請の概要

(1) 名称及び住所並びに代表者の氏名	1 ページ
(2) 変更に係る事業所の名称及び所在地	1 ページ
(3) 申請年月日	1 ページ
(4) 申請内容	1 ページ
(5) 工期	1 ページ
(6) 変更工事に要する資金の額及びその調達計画	1 ページ

### 2. 変更の内容

(1) 変更の理由及び内容	1 ページ
(2) 加工の能力	8 ページ

## 1. 申請の概要

### (1) 名称及び住所並びに代表者の氏名

名 称 日本原燃株式会社

住 所 青森県上北郡六ヶ所村大字尾駸字沖付 4 番地 1 0 8

代表者氏名 代表取締役社長 児島 伊佐美

### (2) 変更に係る事業所の名称及び所在地

名 称 日本原燃株式会社濃縮・埋設事業所

所 在 地 青森県上北郡六ヶ所村大字尾駸

### (3) 申請年月日

平成 1 7 年 3 月 3 日

### (4) 申請内容

①「加工の方法」の変更

②熱的制限値の設定

③貯蔵能力等の変更

### (5) 工期

本変更については工事を要しない

### (6) 変更工事に要する資金の額及びその調達計画

工事を要しないため無し

## 2. 変更の内容

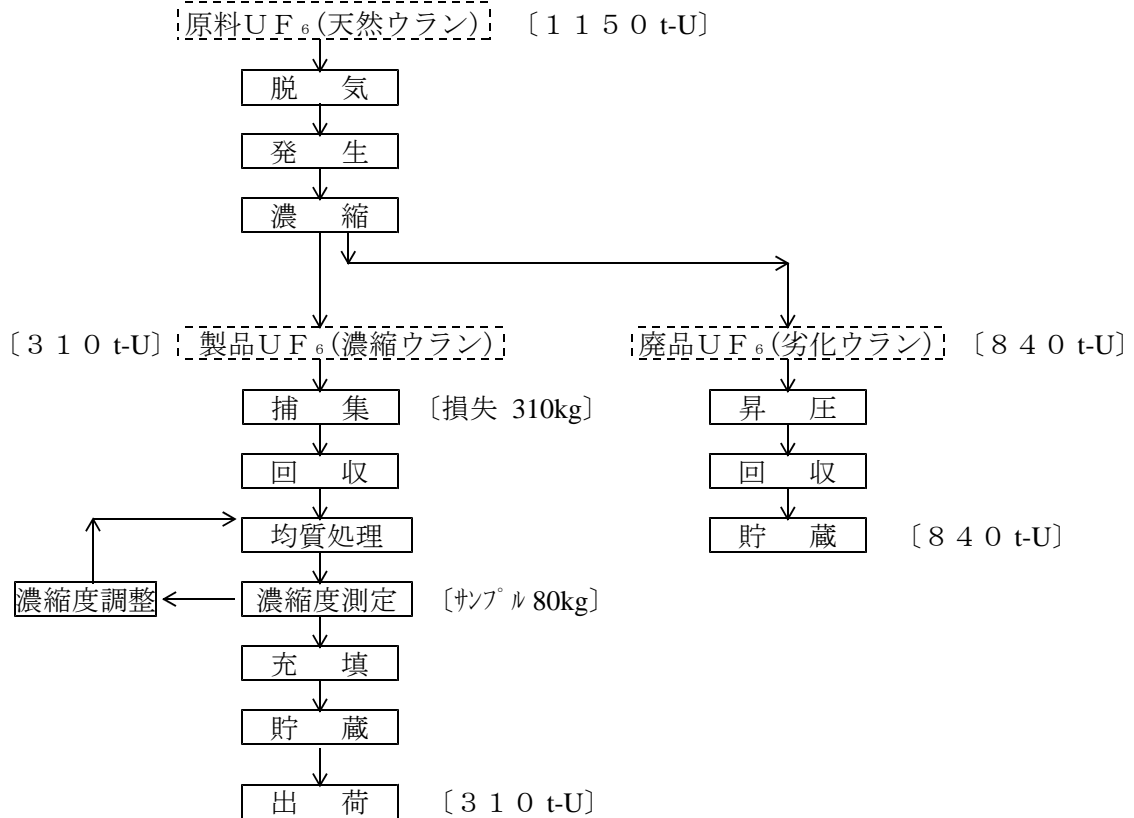
### (1) 変更の理由及び内容

#### ①「加工の方法」の変更

既設均質・ブレンディング設備を利用し、ANSI 規格 4 8 Y の廃品シリンダに充填した劣化ウラン 3 t-U を ANSI 規格 3 0 B の廃品シリンダへ詰替え、出荷する工程を追加する。

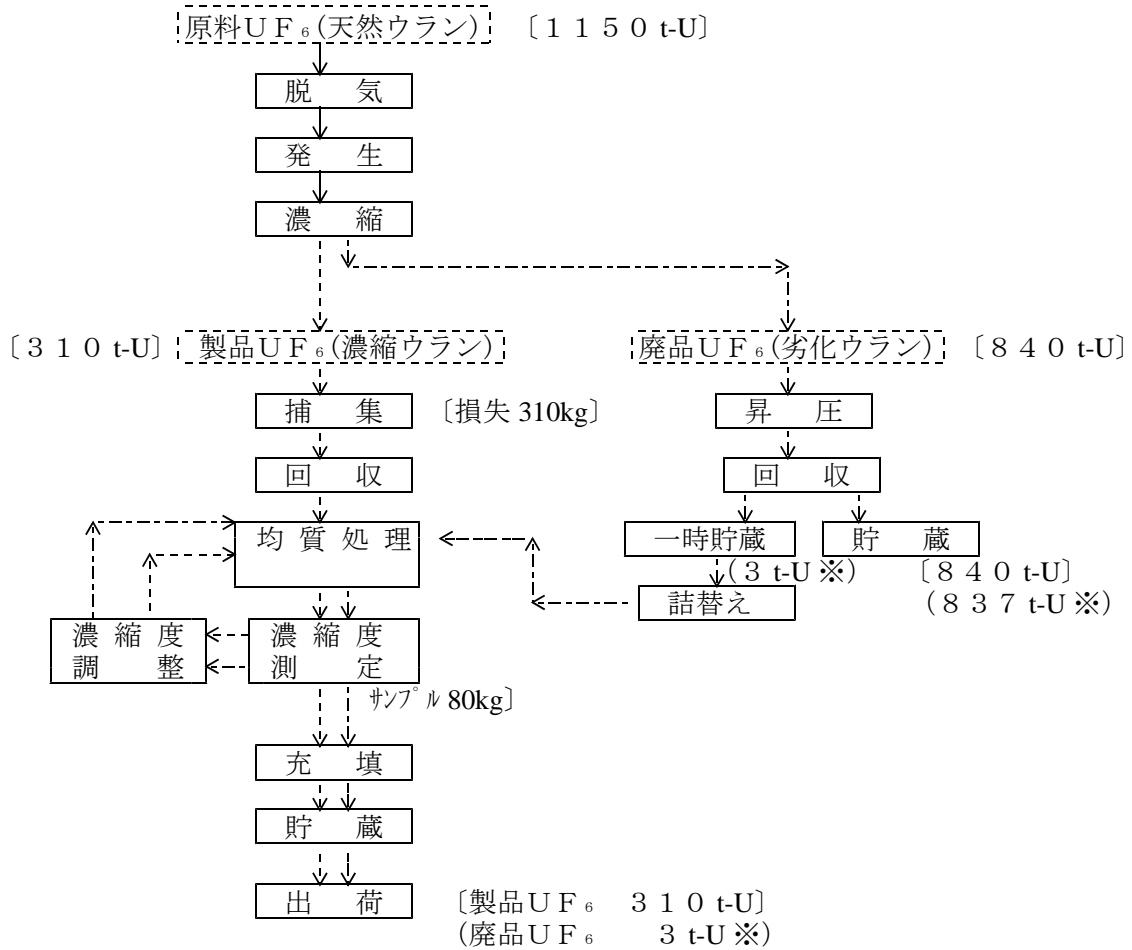
a. 加工工程図〔核燃料物質収支図〕

【現 状】 1号カスケード室等の設備による



・数字は最大年間ウラン量となる製品濃縮度 2.0 %生産時の値である。

【変更後】 1号カスケード室等の設備による



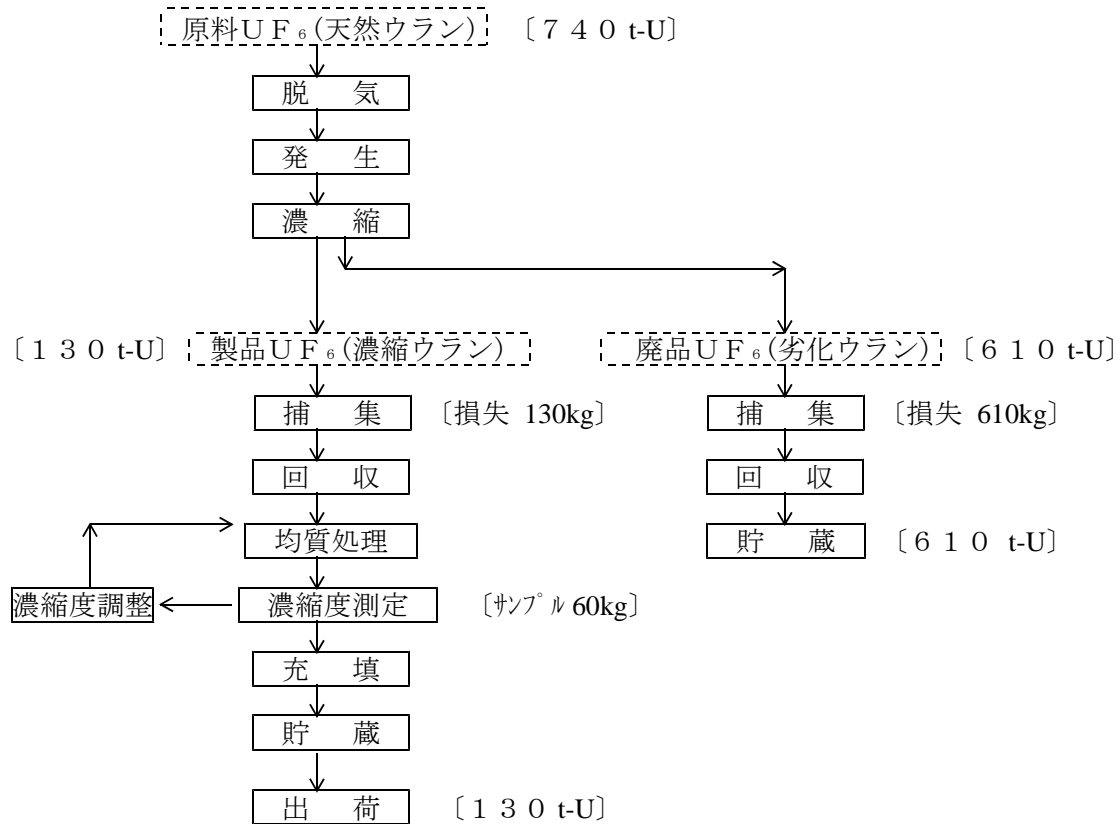
・数字は、廃品 $UF_6$ の詰替え・出荷量(3 t-U)を除き、最大ウラン量となる製品濃縮度 2.0 %生産時の年間の値である。

・ ( ) 内の数値は、廃品 $UF_6$ を詰替えた場合のウラン量を示す。

・実線は原料 $UF_6$ 、破線は製品 $UF_6$ 、一点鎖線は廃品 $UF_6$ を表す

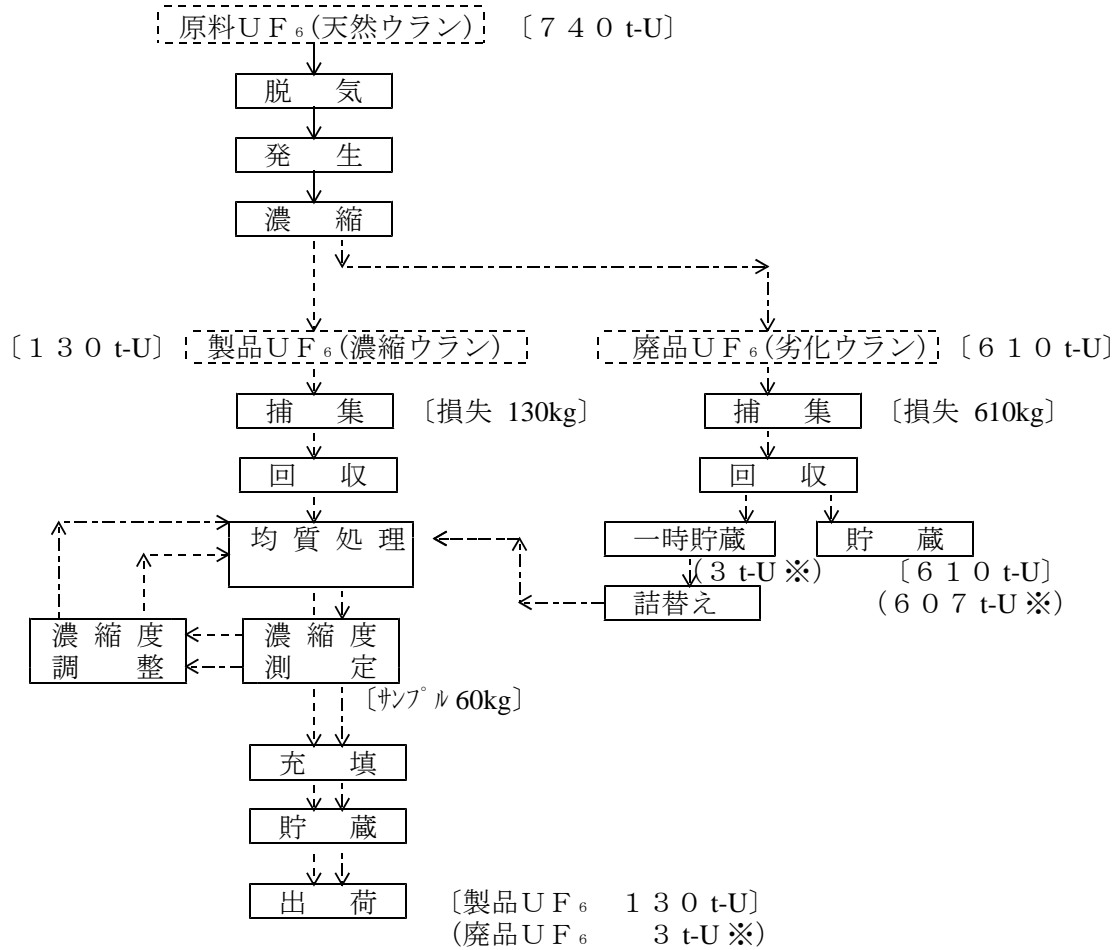
※廃品 $UF_6$ の出荷量は、1号カスケード室等の設備及び2号カスケード室等の設備の合計で3 t-U以下とする。

【現 状】 2号カスケード室等の設備による



数字は最大年間ウラン量となる製品濃縮度 3.0 %生産時の値である。

【変更後】 2号カスケード室等の設備による



・数字は、廃品UF<sub>6</sub>の詰替え・出荷量(3 t-U)を除き、最大ウラン量となる製品濃縮度 3.0 %生産時の年間の値である。

・ ( ) 内の数値は、廃品UF<sub>6</sub>を詰替えた場合のウラン量を示す。

・実線は原料UF<sub>6</sub>、破線は製品UF<sub>6</sub>、一点鎖線は廃品UF<sub>6</sub>を表す

※廃品UF<sub>6</sub>の出荷量は、1号カスケード室等の設備及び2号カスケード室等の設備の合計で3 t-U以下とする。

## ②熱的制限値の設定

3 t-Uの劣化ウランの詰替えに用いる廃品シリンダに熱的制限値を設ける。

	現 状	変更後	
機 器	制限温度	制限温度	備 考
原料シリンダ	1 2 1℃	1 2 1℃	ANSI規格48Y
製品シリンダ	1 2 1℃	1 2 1℃	ANSI規格30B
廃品シリンダ	—	1 2 1℃	ANSI規格48Y、ANSI規格30B
中間製品容器	1 2 1℃	1 2 1℃	

## ③貯蔵能力等の変更

劣化ウランの貯蔵能力を増強するために、天然ウランの貯蔵区域の一部を劣化ウランの貯蔵区域に変更するとともに濃縮ウラン貯蔵区域を濃縮ウラン及び劣化ウランの貯蔵区域に変更する。

さらに、劣化ウランを出荷するため、加工工程内の保管区域に保管する核燃料物質の種類を濃縮度5%以下の濃縮ウランから濃縮度5%以下の濃縮ウラン及び出荷する劣化ウランの濃縮度調整に用いる天然ウラン及び劣化ウランとする。

### a. 貯蔵専用区域

#### A ウラン貯蔵室

##### 【現 状】

核燃料物質の種類	核燃料物質の状態	最大貯蔵能力	備 考
濃縮度5%以下の濃縮ウラン	固体及び気体のUF <sub>6</sub>	2 2 2 t-U	製品シリンダ1 4 4本 (ANSI規格30B)
天然ウラン	同 上	1 9 2 8 t-U	原料シリンダ2 2 8本 (ANSI規格48Y)

##### 【変更後】

核燃料物質の種類	核燃料物質の状態	最大貯蔵能力	備 考
濃縮度5%以下の濃縮ウラン及び劣化ウラン	固体及び気体のUF <sub>6</sub>	2 2 2 t-U	製品シリンダ及び廃品シリンダ1 4 4本 (ANSI規格30B)
天然ウラン	同 上	1 9 2 8 t-U	原料シリンダ2 2 8本 (ANSI規格48Y)



B ウラン貯蔵室

【現 状】

核燃料物質の種類	核燃料物質の状態	最大貯蔵能力	備 考
濃縮度 5 % 以下の濃縮ウラン	固体及び気体の U F <sub>6</sub>	2 4 1 t-U	製品シリンダ 1 5 6 本 (ANSI 規格 30B)
天然ウラン	同 上	1 3 5 3 t-U	原料シリンダ 1 6 0 本 (ANSI 規格 48Y)
劣化ウラン	同 上	3 6 5 2 t-U	廃品シリンダ 4 3 2 本 (ANSI 規格 48Y)

【変更後】

核燃料物質の種類	核燃料物質の状態	最大貯蔵能力	備 考
濃縮度 5 % 以下の濃縮ウラン及び劣化ウラン	固体及び気体の U F <sub>6</sub>	2 4 1 t-U	製品シリンダ及び廃品シリンダ 1 5 6 本 (ANSI 規格 30B)
劣化ウラン	同 上	5 0 0 5 t-U	廃品シリンダ 5 9 2 本 (ANSI 規格 48Y)

b. 加工工程内の保管区域

【現 状】

核燃料物質の種類	核燃料物質の状態	最大貯蔵能力	備 考
濃縮度 5 % 以下の濃縮ウラン	固体及び気体の U F <sub>6</sub>	8 6 t-U 5 5 t-U	1 号均質室内中間製品容器置場 2 号発回均質室内中間製品容器置場

【変更後】

核燃料物質の種類	核燃料物質の状態	最大貯蔵能力	備 考
濃縮度 5 % 以下の濃縮ウラン、天然ウラン及び劣化ウラン	固体及び気体の U F <sub>6</sub>	8 6 t-U 5 5 t-U	1 号均質室内中間製品容器置場 2 号発回均質室内中間製品容器置場

(2)加工の能力

①処理する核燃料物質の最大処理能力

処理する核燃料物質の最大処理能力に変更はない。

②変更に係る施設による加工事業の開始予定時期及び予定加工数量

a.加工事業の開始の予定時期

平成17年度

b. 予定加工数量

劣化ウラン約3 t-U